

# ORACLE DATABASE 11G ORACLE WAREHOUSE BUILDER ERP/CRM コネクタ

## 主な機能と利点

### ORACLE WAREHOUSE BUILDER

- 抽出、変換、およびロード機能 (ETL と E-LT は 1 つのツールでサポート)
- ERP および CRM パッケージ・アプリケーションを含む個別データ・ソースからのデータ統合
- 従来システムからのデータ移行
- リレーショナル構造やディメンション構造のデータ・モデリング
- 企業メタデータの設計と管理
- 高品質情報を提供するためのデータ・クレンジング
- プロファイリングとデータ品質監査

Oracle Warehouse Builder 11g Release 1 は、あらゆるデータとメタデータの管理に対応する総合ツールです。データ品質、データ監査、リレーショナル・モデリングとディメンション・モデリングの完全な統合、およびデータとメタデータのライフ・サイクル全体の管理を提供します。

### ERP および CRM コネクタ

Oracle Warehouse Builder 用の ERP および CRM コネクタは、Oracle Database 11g Enterprise Edition の一部として Oracle Warehouse Builder と同時に購入できるオプションの 1 つです。



図 1 Oracle Warehouse Builder のオプション

このデータシートでは、図 1 に示すコネクタのみを扱います。

### Oracle E-Business Suite 用のコネクタ

Oracle Warehouse Builder の E-Business Suite コネクタは、Oracle Daily Business Intelligence のような既存のプリパッケージ・ソリューションに加えて、カスタムのレポート環境やウェアハウス環境を作成するために選択できるソリューションです。

Oracle Warehouse Builder は、Oracle E-Business Suite 固有のメタデータを理解し、Oracle E-Business Suite からの抽出を大幅に簡素化し、効率化します。Oracle E-Business Suite からの抽出は、SQL ベースの抽出メカニズムです。

また、EBS コネクタは、EBS 製品ファミリーに属する Oracle Concurrent Manager とシームレスに統合できます。

そのため、Warehouse Builder プロセスを EBS の汎用のスケジューリングとジョブ管理フレームワークに緊密に統合できます。

### Oracle PeopleSoft 用のコネクタ

PeopleSoft コネクタを使用すると、Oracle Warehouse Builder が PeopleSoft アプリケーション固有のメタデータ構造を理解できるようになります。

たとえば、PeopleSoft CRM の中で、階層を下って論理要素コンタクトを表示し、コンタクトの構成を確認できます。図 2 に、これを示します。

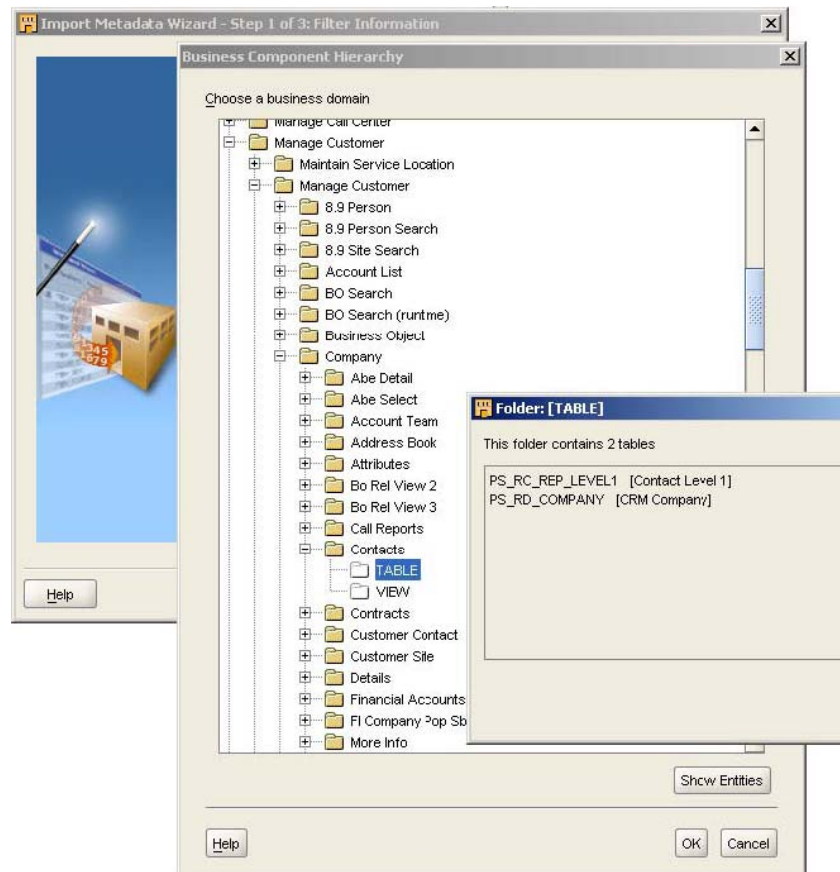


図 2 論理要素を構成する表の検索

メタデータをインポートしたら、Oracle Warehouse Builder の SQL ベースの抽出メカニズムを使用して、このデータを統合できます。

### Oracle Siebel 用のコネクタ

Siebel コネクタは、EBS や PeopleSoft コネクタに非常によく似ています。Siebel の場合、コネクタは、Siebel メタデータの構造を理解し、これらの構造のビジネス・ビューを提供します。上述のコネクタと同様、Siebel コネクタも SQL ベースのコネクタです。

### SAP 用のコネクタ

Oracle Warehouse Builder 用の 3 番目のコネクタは、SAP 固有のビジネス・メタデータを理解するための SAP R/3 コネクタです。

## ERP/CRM コネクタ

## 主な機能と利点

- すべてのパッケージ・アプリケーション・ファミリー固有のアクセス
- 高度なメタデータ・インポート機能
- 開発者がビジネス用語を使用可
- 高性能のバッチ・ロード
- ABAPを使用したSAP固有アクセス

## 関連製品

次の Oracle 製品が使用できます。

- Oracle Warehouse Builder Data Quality オプション
- Oracle Warehouse Builder Enterprise ETL オプション
- Oracle Database
- Oracle Partitioning
- Oracle OLAP
- Oracle Data Mining
- Oracle Transparent Gateways

Oracle Warehouse Builder は、RFC を使用してアプリケーション・サーバーに接続し、ビジネス・メタデータを収集して、表メタデータにリンクします。Oracle Warehouse Builder は、透過テーブルを理解するだけでなく、プールやクラスタテーブル構造も理解します。

SAP にはバッチを実行するための ABAP という固有の言語があるため、コネクタを通じて ABAP を使用し、データを抽出できます。ABAP を使用することは、SAP 固有の言語を使用してデータを操作できることを意味します。

ただし、手動でコードを書く代わりに、Warehouse Builder マッピングからコードを生成します。このように、Oracle Warehouse Builder を使用すると、透過テーブル、プールおよびクラスタ表テーブルを操作できるので、効率的で便利な方法で R/3 システム全体にアクセスできます。

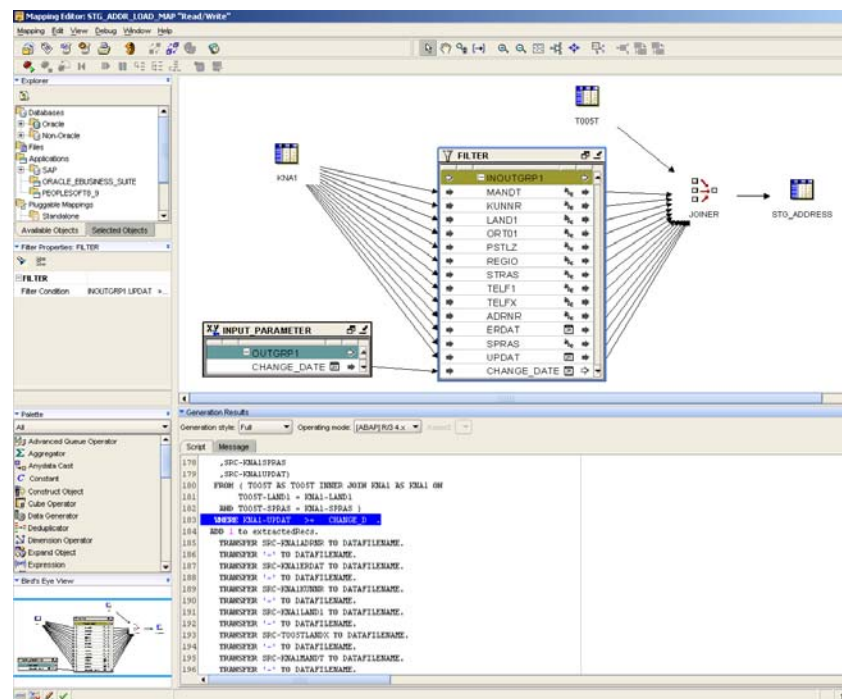


図3 Oracle Warehouse Builder でパラメータ化した ABAP コード

Oracle Warehouse Builder を使用すると、SAP 管理者は、ABAP を開発段階から稼働段階へ移行するなど、SAP システム上の ABAP の実行を完全に制御できます。

Copyright 2007, Oracle. All Rights Reserved.

本書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本書は一切開示がないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本書に関するいかなる法的責任も明確に否定し、本書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。